

小須戸公民館報

町館信日
戸民常信
須中公常
小中成毎
発行人日
発行日
印刷所

花と緑を 愛する町づくり

～自然とともに明るく 住みよい小須戸町～



昭和五十五年十月二十九日に「花と緑の町宣言」を行い、毎年五月四日を「花と緑の日」に制定しました。

これは、全町民が美しい自然の中で、花と緑を愛し、町に花と緑をいっぱいにする運動を通じて、明るい町づくりを推進する目的で花と緑の町宣言を行ったものです。

これを受けて、昭和五十七年二月に町長を本部長とする「小須戸町花と緑推進協議会」を発足させ、各種団体の参加を得て推進委員会、生産委員会、実施委員会を組織して実践活動を開始しました。

小須戸町と云えば、花と緑を連想するように、うでこぎを中心とした花弁園芸が盛んな所で毎年行われる植木盆栽まつりやサツキまつり、寒梅まつり、ぼけ展示会には他県からも沢山の

昭和五十五年十月二十九日に「花と緑の町宣言」を行い、毎年五月四日を「花と緑の日」に制定しました。

これは、全町民が美しい自然の中で、花と緑を愛し、町に花と緑をいっぱいにする運動を通じて、明るい町づくりを推進する目的で花と緑の町宣言を行ったものです。

これを受けて、昭和五十七年二月に町長を本部長とする「小須戸町花と緑推進協議会」を発足させ、各種団体の参加を得て推進委員会、生産委員会、実施委員会を組織して実践活動を開始しました。

小須戸町と云えば、花と緑を連想するように、うでこぎを中心とした花弁園芸が盛んな所で毎年行われる植木盆栽まつりやサツキまつり、寒梅まつり、ぼけ展示会には他県からも沢山の

昭和六十五年は「花と緑の国際年」に当たり、近年中には全日本花いっぱい連盟の主催する「全国花いっぱい大会」が、新潟県において開催される予定になっております。

新潟県も、これを受けて六十二年度に「新潟県花いっぱい連盟」を発足させました。

当町も、小須戸町花と緑推進

愛好家が来町します。特に、植木盆栽まつりは昭和五十年から行われているもので五月の連休は沢山の人が賑わいます。

ちよこつと一言 (2)

健康づくり

駅前より松ヶ丘団地へ移転して三年目を迎えます。歩くことが健康に良いとわかってから私は毎日一万歩を目標として実行しています。四月から九月まで五時半起床、十月から三月まで六時半。歩いて団地内一回目一



時間位、二回目は少し早目に五十分位続けて歩き、その後朝食をとり、三回目は夕食前に一時間半位歩きます。三回の合計が一万歩少々になります。転居してから風邪もひかず、毎日の起床時の天候が楽しみです。歩け歩け。何年間続けられるか私も楽しんで毎日健康づくり歩いております。

小須戸町ゲートボール協会 わりけしよ

一諸になじらね

ふれあいコート利用のご案内
旧小学校跡地に昨年からのゲートボールを通じて町民ふれあいの場として二面の立派なコートができました。ゲートボールは老人だけの特技ではありませんので、小学校、中学校の生徒達

町内の若い世代の人達とぜひ交流して見たいのです。わりけ人達、ぜひふるって参加して下さい。

練習日は次のとおりです。
練習日 毎週火曜・木曜・土曜
日曜、(日曜は特に若い人達との交流の場として特設しました)
時間 午後一時三十分より
※尚、道具はお貸しします。



「新潟県母と子のよい歯のコンクール」実施について

健康な歯を持つ母と子のコンクールが、新潟県の主催で行なわれます。参加希望者は、役場保健衛生係まで、ご連絡ください。

◎応募資格 昭和六十二年度中

役場、中央公民館への勤労奉仕、ありがとうございます。

いまや、花いっぱい運動を通じて、その波及効果で、地域おこしや、明るいまちづくりを推進しようという機運が全国的におこっております。

当町でも、各種団体や町民各位との有機的連携を密にし、「宣言」の主旨に恥じないよう、花と緑の明るい町づくりを推進していきたいと思っております。

これからも、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

小須戸町花と緑推進協議会 (事務局 町民生活課福祉係)

自然が作り出す美を求めて

高橋 鉄雄さん

自然は人間が作れない造形的美を生み出すことが可能である。それは逆にいえば、人間が手が加えないからこそ美しいのかも知れない。自然を愛し、山に親しむ中から独学で枯木の根を探る人がいる。高橋鉄雄さん(天ヶ沢、七十二才)である。枯木の根「子磨き」と呼ばせて頂きますが、きっかけは「そうらね、根っ子が好きなんです。自然が作るのが好きでね。特に根は同じ形の物はねえすけれね。」

ふるさと散歩 (13)

去る五月一日(日)、町内の天理教の皆さん七十名以上の方が、役場と中央公民館の回りの草とりや、排水口の清掃をしました。

て下さいました。お陰さまで大変きれいになりました。ありがとうございます。

成人式は君達の手で

8/15 成人式実行委員募集

同学年のみんなが顔を揃える成人式を、君達のアイデアと実行力で「参加して良かった」と思える成人式にして欲しい。対象者は63年度20歳になる者男女問わず。まずは公民館へ連絡を。

新潟県公立の小学校、中学校、高等学校教員並びに養護教員を次のとおり募集します。

出願資格 昭和二十四年四月二日以降に生まれた者。出願校種の教諭普通免許状又は養護教諭普通免許状を所有している者及びこれらの免許状を昭和六十四年四月一日までに取得する見込みの者

検査期日 七月二十六日(火)

出願方法 六月六日が切りでその間に合うよう教育委員会へご相談下さい(三三三二二)

花と緑の町宣言

わたくしち小須戸町民は、美しい自然と花と緑を愛護し、より豊かで明るく住みよい郷土をつくるためにここに「花と緑の町」を宣言する

原稿・情報をお寄せ下さい

今月より「ちよこつと一言」の欄の原稿を募集します。字数は250字程度とし、内容は問いません。毎月月末を切とします。掲載、不掲載及び字句の割愛は一任させていただきます。掲載希望者は原稿にタイトルと住所、氏名を書いて公民館事務局へ郵送(ハガキでも可)か直接持参下さい。尚、「ふるさと散歩」の情報もお待ちしております。



「手先を使うと老化防止になるすけれね。それで作品が出来るんすけ一石二鳥らわ。」

作品には絶対塗りものは使わない。天然の色がいいと乾いた布で毎日磨いてツヤを出す。

自然が作った作品はひとつしかない。何度も言われた言葉がとても新鮮に聞こえた。



さあ 活動シーズン到来!!

～気軽に楽しく参加しよう～

「スポーツを生涯の友に」 町民体育館一般開放のお知らせ

近年、健康や体力への関心が高まっている中で、明るく豊かで活力ある生活を送るため、生涯にわたってスポーツに積極的に親しむ傾向がより強くなり、親に親しむ傾向がより強くなり、背景には、急激な社会環境の変化に伴って、青少年をはじめ高齢者まで、体を動かす機会が少なくなり、体力の低下やストレスによると思われる健康障害などが目立ってきていることが挙げられます。

このようなことから、幅広い年齢層の人々がスポーツに親しむ姿を見る機会が多くなってきています。

若者は楽しみや気晴らしのためにスポーツをする傾向が強くなり、高齢者になるほど運動不足解消のためや体を丈夫にするため、あるいは仲間づくりのため、という具合に、いまやスポーツは私たちの間に定着し、国民の三人に二人が日常生活の中で何らかの形でスポーツをしており、その約半数に近い人が週一回以上、定期的にスポーツに親しんでいます。

このような状況から町では、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりとして、次のように町民体育館を開放することになりました。

◆開放日

毎週火曜日(六月七日より)

◆開放時間

午後七時三十分から午後九時三十分まで

◆対象

一般(但し、中学生以下は保護者同伴とする)

◆内容

一般開放。スポーツ教室(月一回)。親子で遊ぶ日。その他。

◆用具

各自ご持参下さい

◆管理及び指導

小須戸町体育指導委員会

◆その他

※その他、不明な点がありましたら教育委員会(38-311内線57)までご連絡をお願いします。



素敵な女性へチャレンジ

ヤングレディーズ教室参加者募集

女性の「心づかいとおしゃれ」をテーマにヤングレディーズ教室を開催します。広い分野に渡って楽しく学べる内容がもりだくさんです。友達同士でもお一人でもお気軽にご参加下さい。

対象 十八才以上三十才未満の女性(高校生は除く)

会場 小須戸町中央公民館

時間 午後七時三十分より九時三十分(内容により変更あり)

参加費 無料(経費実費、テキスト等)

申込み 五月末日までに中央公民館事務局までどうぞ

第3回さつきマラソン大会

親子揃って ここちよい汗を

今年で二回目を迎えたさつきマラソン大会。お気軽にどうぞ。

日時 六月十九日(日)午前八時三十分受付、九時開会式

集合場所 中央公民館

種目 三kmコース(小学四年以上) 五kmコース(中学生以上) 十kmコース(高校生以上)

参加料 一人百円(傷害保険料) 申込メロ 六月十一日

申込場所 役場内教育委員会または中央公民館へ参加料を添えて申し込み下さい。

※その他不明な点は教育委員会(三八三二一内線五七)へ

第十五回町長旗争奪ナイターリーグ開幕

五月十六日(月)二十五チームが参加して町長旗争奪ナイターリーグが開幕しました。小須戸中グラウンドで熱戦が繰り広げられることと見られます。みなさんの応援をお願いします。

町内剣道大会のお知らせ

第一回小須戸町内剣道大会兼父母の会設立二十周年記念剣道大会を開催します。

日時 五月二十二日(日)午前八時三十分集合

会場 小須戸中学校体育館

対象 小須戸町内小・中学生

主催 小須戸町教育委員会 小須戸町剣道振興会

催しものご案内

16mm映画・ビデオ視聴室

日時 六月二十二日(水)午後七時三十分より九時まで

会場 中央公民館二階視聴覚室

内容 台子飾り：徳川家の名品茶杓：利休「なみだ」の茶杓

水田老人クラブ映画教室

日時 五月二十日(金)午後一時三十分より三時三十分まで

会場 水田集落センター

第四回小須戸地区音楽連合会民謡発表会

日時 六月五日(日)午前十一時開演

会場 中央公民館三階ホール

※どなたでもお気軽にどうぞ。

クラブ員募集

バスケットボール

バスケットで気持ちよい汗を練習日 毎週金曜日午後七時三十分から九時三十分まで

場所 小須戸町町民体育館

連絡先 田巻開治(T.F.L.三八三〇〇七番)

あすなるこども広場のおさそい

子育ては親の永遠の課題です。悩みや心配事があっても当然なのです。要はそれをいかに親らしく解決の方向へ持っていくか。皆さんの学級です。どうかお気軽にご参加下さい。

目的 乳幼児期の体と心の育て方を正しく理解する。また、親同士の親睦を図る。

対象 0才から就学までの子供を持つ両親

会場 小須戸町中央公民館

時間 午後一時三十分～三時三十分

※お子さんをつれても可

回	期日	テーマ	内容
1	5.23(月)	開級式・体の発育	・開級式～これからの学習の進め方について ・体の発育と健康について
2	6.21(火)	心の育て方	・子供への愛情と仕上げ
3	7.19(火)	映写	・映写を見て座談会
4	8.2(火)	親子水遊び	・プールに入って水になれましょう。
5	8.9(火)	親子水遊び	・プールに入って親子で遊びましょう。
6	9.13(火)	おもちゃ	・身近な材料を使っておもちゃを作ってみましょう。
7	10.18(火)	親子で健康づくり	・どこでも簡単にできる運動
8	11.15(火)	閉級式・座談会	・学習の反省とまとめ ・子育てについて意見交換

分館だより

レッツ・ゴー健康さわやか早朝ウォーク

主催 小須戸分館

コース 横川、ウデコキ方面をがし朝の陽ざしに囲まれて、みんな朝の散歩といきましょ。きつと違う町並みが見えますよ。

期間 五月二十日(金)から六月十九日まで(土・日を除く)

参加者 町全域成人以上の者

集合場所 中央公民館前

集合時間 午前五時三十分

(六月一日より午前九時) 二日に延期します。

小須戸分館野球大会

日時 六月五日(日)午前八時三十分より

会場 信濃川河川グラウンド

尚当日雨天の場合は六月二十二日に延期します。

小須戸川柳会

題「乗る」

乗り換えがいやで高くも遠回り
ハイウエースピド競う風を切る
昼酒に酔うて乗り越す春うらら
初心者の車に乗って気が疲れ
良いことのあるらし朝の化粧のり
飲み過ぎてまた乗り過す終電車
過疎の村バスに乗る人医者通い
乗っ取られ耳をかきない北の島
乗せられた酒と知りつつ義理を酌み
何時の世も駕籠に乗る人担ぐ人
口車のせて会長一人占め
乗り気でも素直になれぬコンパクト
夢を追いつき有り金はたたく口車
ハネムーン夢と希望を乗せて発ち
乗り過ぎた七面相て児を泣かせ

加藤 米二
長井 武雄
我妻 清作
吉田 源吾
成田 常信
高橋 だし
岡田 良平
松沢 キヨ
藤井 春江
小見 キン
玉村 タネ
保科 志枝
駒村 幸世
渡辺 信子
吉田 みな

短歌クラブ作品

故郷の市場に寄りて魚買えば我が背をたく
なつかしき友
母と子のむつみ合う声ふとわれの子育ての日
日たどりてぞみる
良寛の手鞠真似せしこの手鞠五色の絹糸かた
く玉なす
幼子は老いの眼鏡をもて遊び口に噛むさま
とおしくあり
咲き初むるバラも物干す吾もまたこの地に根
づき初夏の陽を浴ぶ

小林 芳子
佐久間ヒサ
高橋 キヨ

四月例会作品

小須戸町俳句同好会

セイター脱ぎ松一鉢を整えり
暖炉燃ゆ椅子を並べてごる寝癖
あたたかや糸のもつれをなおす母
冬囲解くやたらまら空種ゆる
砂時計紅き砂落つ春愁ひ
佐渡山に暮色一刷毛鳥帰る
茹で卵鍋に踊るや山笑う
一日が始まる今日も梅日和
春耕の手を休ませて暮送る
牛を売る日も近しとや鳥帰る
杭を打つ川瀬の濁り水温む
三月は父と母の忌風和む
川のおとあるかも知れぬ猫柳

渡辺 松山
内山 越樓
五十嵐春月
中野 太浪
佐久間久子
野野 良遊
丸山 虚秋
齊藤可津明
吉田 ミナ
間島 秀穂
小林富沙子
田中美根子
吉田 素糸

短歌

昏れなすむ山の斜面の暗がりに静まり咲ける
山吹の花
ヘルメット揃うて走る自転車影の影長し初
夏の夕ぐれ
散り敷ける落葉踏みつ、笠に皮脱ぐ竹の青を
清しむ

我妻 清作
伊藤照淡
加藤 茂